

埼玉県山岳連盟 埼玉岳連報第 39 号

発行者 会 長 森下健七郎
発行所 理事長 天野 賢一
編集人 広 報 岩井田正昭
発行日 平成 23 年 5 月 31 日
発行数 1600 部

埼玉岳連



田中名誉会長賞を授与された、大石委員長（左）と宇津木委員長（右）

巻 頭 言

（社）日本山岳協会々長退任のご挨拶

田中 文男

埼玉県山岳連盟の皆さん方に支えられて5期10年という長い間、日本山岳協会
会長職を務めさせて頂きました。素晴らしい出身母体を持つ事ができた事を誇りに思うと
同時にこれまでのご協力、ご支援に心からお礼を申し上げます。

会長職を引き受けるという事は様々な無理難題を地元を持ち込むかもしれないという
事を知りながら、いつも笑顔で応えて下さった山の仲間の素晴らしさを実感させて頂きました。

本当にありがとうございました。

平成 23 年度埼玉県山岳連盟評議員総会 報告

平成 23 年 4 月 17 日 (日)
北本中央公民館

《会計監査》

- 0 11 時より北本中央公民館内にて、会計監査を実施。
監 事 : 佐藤求、内野安登、
会計担当 : 加藤富之
選手強化担当 : 宇津木秀二

- 1 午後 1 時より会場準備、資料の綴じ込み
2 午後 1 時 50 分～第 1 回理事会

《理事会》 第 3 会議室 午後 2 時から 2 時 30 分
【協議事項】

- 1 東日本大震災の取り組みについて→独自の募金はないので、日山協の募金に応募して下さい。また、県岳連で事業開催の節には、募金箱を設置し、日山協へ送る。
- 2 田中名誉会長賞について→3 件の候補を田中名誉会長に推薦し、2 件が受賞となる。
- 3 田中名誉会長日本山岳協会会長退任慰労会について→6 月 25 日 (土)、14 時より、浦和ロイヤルパインズホテルにて開催 後日、案内状を配布。
- 4 記念切手について→埼玉岳連の推薦は「両神山」。
※ 田中名誉会長より補足説明あり。日体協の記念事業の一環として提案し採用された。
毎年 10 枚×5 年=50 枚発行予定。緊急の案内と推薦提出でお世話になりました。
- 5 埼玉岳連の正式ホームページについて 運用開始。
- 6 日山協正会員の推薦について 三役会の協議を経て、正会員として「石倉副会長」を推薦した。
- 7 加須カップとコバトンカップの日山協名義後援の推薦について→承認。

.....

《平成 23 年度評議員総会》 第 3 会議室

2 時 30 分～平成 23 年度評議員総会



総会開催に先立ち全員で黙祷

総会の開会に先立ち、東日本大震災の被災者の皆様のご冥福を祈願し黙祷。→ 天野理事長。

柳原副会長の開会の挨拶 「震災後、連日気の重い日が続いておりますが、多少の不便はあるものの日常生活ができる幸せ。そういう中での評議員総会ですが、ご審議を宜しく願います」

森下会長の挨拶 「平成 22 年度の諸事業の開催に尽きましては、関係各位の皆様いろいろとご苦勞様でした。役員改選がない今年、2 期 4 年目に入りました。今年度で退きたいと思いますが、宜しく願いいたします。」
議長選出

今回は、事務局長の推薦 (※1) で、加須市山岳連盟・ボルシチ矢萩実会長に願います。拍手で承認。

議事録署名人は、川越山の会・五十雀の岩井田評議員 (代理) に願います。

総会成立宣言 出席 21 名、代理人 6 名、委任 14 名 計 41 名の出席で定足数の 1/2 以上となり、成立を宣言します。→加藤事務局長。

議 事

議長：加須市山岳連盟・矢萩実・ボルシチ (B7) 会長
第 1 号議案

平成 22 年度事業報告。総務以下各委員会の委員長が説明。⇒ 承認。

第 2 号議案

平成 22 年度会計報告。一般会計と強化関係の 2 つの報告をし、監査報告の後、⇒承認。

※今年度はなんとか赤字にならないで済んだが、来年度の財政は厳しい。

○新規加盟団体の紹介

彩・岳悠会 笠原数浩会長あいさつ。

○平成 23 年度活動方針 森下健七郎会長

仲間内だけでなく、広く山の愛好家の岳連となる。

①組織の強化 事務局の仕事の軽減 ホームページの立ち上げ 運用開始

②所属証明書の発行 一人 1000 円 元がとれる活動割引等の拡大、層と組織の拡大 個人会員制度

⇒ 承認。

第 3 号議案

23 年度事業計画。これも各委員長が説明。⇒承認。
主な事業としては、

1, 関東地区スポーツライミング大会の開催

11/13・加須市民体育館

(1, は、持ち回りの開催で今年当番県)

2, 第 2 回全国高校生クライミング選手権大会の開催

12/24-25・加須市民体育館 の 2 つ。

(2, は、昨年、日山協 50 周年記念事業で第 1 回大会を開催。今年第 2 回大会となる)

他、競技委員会は、大会運営だけでなく、指導員の育成も考えねば。

遭対委員会では、年 4 回同志が集まり「レスキュー研

究会」を開催します。メニューを見て、ご参加下さい。
海外登山委員会では、会員の「マナスル登山」を応援します。

選手強化委員会では、国体出場の要、「関東ブロック突破」を目標に頑張ります。

⇒ 承 認。

第 4 号議案

23 年度予算案。加藤事務局長より説明。

⇒ 承 認。

※昨年は会員証発行で多少の余裕ができたが、今年度は、前年度から 10 万円の所属証明書繰越金と追加発行で 20 万円の収入見込み。追加発行のご協力をお願いします。

また、それだけでは収入が足りないので、特別会計を切り崩し、10 万円を一般会計に繰り入れます。その他寄付等、皆様のご協力をお願い致します。

以上で、予定された議案は滞りなく終了。総会会議秋涼に伴い矢萩議長への解任。

その他として、

①第 5 回田中名誉会長賞の授与。

今年は、昨年 12 月に「第 1 回全国高校生クライミング選手権大会」を主管し大成功を納めた「第 1 回全国高校生クライミング選手権大会実行委員会」（授与者代表：高体連登山専門部委員長 大石智章氏）と、65 国体において悲願の「男女両方共に 8 位以内入賞」を果たした「選手強化委員会」（授与者代表 選手強化委員長宇津木秀二氏）が受賞。金一封（各 5 万円）と賞状、田中名誉会長からの山岳切手シートの記念品が贈られた。

②東日本大震災義援募金の協力について

→方法：ブロックに分けて順番で委嘱していく。

③評議員総会の議長選出方法について

→加盟団体を番号順で（※1）

I（1）川口市登山同好会～（6）山と自然を楽しむ会

II（17）桶川山の会 ～（31）新電元工業山岳部

III（32）所沢市役所山の会～（47）加須クライミングビナ

IV（48）幸手山岳会 ～（61）彩・岳悠会

の 4 ブロックに分け、順に議長を選出。

昨年はⅡブロック（深谷山岳会）から出たので、今年はⅢブロック。今回は→（47）ボルチの矢萩会長にお願いした。

④田中名誉会長よりご挨拶

「皆様に、いろいろご迷惑をお掛けします。」と言って、始まった日山協の会長職。いつの間にか 10 年になりました。長きにわたり、大変お世話になりありがとうございました。

そして、最後に、石倉昭一副会長の閉会の言葉

「昨年は、指導員養成講習会の開催、65 国体での入賞、全国高校生クライミング大会の開催等で沢山の若い人の活躍を見ました。今後も宜しくお願いします。」で、総会を終了した。

敬称略 記録・加藤富之、議事録署名・岩井田正昭



手前理事者席、前列、向かいが評議員席

.....

平成 22～23 年度埼玉県山岳連盟役員（4 月現在）

役職名	氏 名	所 属
名誉会長	：田中 文男	浦和山岳会
会 長	：森下健七郎	高体連登山専門部
副会長	：柳原 政一	小鹿野山岳会
	：石倉 昭一	大宮アルパインクラブ
	：福田 靖	たらっぺ山の会
監 事	：佐藤 求	あゆむ山の会
	：内野 安登	エコー山の会
理事長	：天野 賢一	遠峰山岳会
副理事長（兼任）	：瀬藤 武	浦和溪稜山岳会
事務局長	：加藤 富之	深谷山岳会
指導委員長	：野村 善弥	あゆむ山の会
競技委員長	：土屋 正昭	加須クライミングクラブ・ビナ
選手強化委員長	：宇津木秀二	高体連登山専門部
遭難対策委員長	：瀬藤 武	浦和溪稜山岳会
自然保護委員長	：岩崎 繁夫	戸田山の会
海外登山委員長	：鈴木 直樹	浦和溪稜山岳会
ジュニア委員長	：大石 智章	高体連登山専門部
広報委員長	：岩井田正昭	川越山の会・五十雀
企画委員長	：村岡 正己	加須アルパインクライミングクラブ
事務局	：町田 週一	大宮アルパインクラブ
	：塩谷 壽子	大宮山岳会
名誉顧問	：浅見 豊	恵流峰会
参 与	：井上 守司	
	：野井 篤	
	：北 千恵吉	小鹿野山岳会
	：井古田忠男	本庄山の会
	：北田 紘一	浦和西岳友会
	：新井 宏司	奥武蔵カンダーフォーゲル
	：大野 好司	（高体連登山専門部）
	：武井 正男	深谷山岳会
	：中田 弘	浦和溪稜山岳会
	：平沼 伸一	小川山の会
	：牧野 要雄	浦和溪稜山岳会

：大野 幾雄 戸田山の会
 ：柳下 明男 山岳同人埼玉
 ：大久保 孟 桶川山の会

《埼玉県山岳連盟平成23年2月常任理事会報告》

2月8日(火)午後7時30分～

北本市中央公民館 第3会議室

0：出席 柳原副会長、石倉副会長、天野理事長、瀬藤副理事長、岩井田広報委員長、土屋競技委員長、大石ジュニア委員長、宇津木強化委員長、岩崎自然保護委員長、野村指導委員長、村岡企画委員長、加藤事務局長 計12名

◆欠席 森下会長、福田副会長、鈴木海外登山委員長、

1：開会挨拶(柳原副会長) 先月の理事会&新年会には多数の皆様にご参加頂きありがとうございました。

2：報告

●1/21 1月理事会&理事新年会 川越「さわや」

29名参加+会計報告

●1/29「他人事ではない山岳遭難！－その原因と安全登山対策」・さいたま市〈日本山岳会埼玉支部〉約100名が参加し、4時間にわたる飯田県警山岳救助隊副会長の講演・講習が行われた。

●1/29-30 競技部ブロック別研修会・茨城県水戸市(土屋・井上・竹中・樫浦)参加。クライミング審判員には、20-30代が多数参加。埼玉も若手を育てないと

●2/5-6 関東地区山岳連盟総会・群馬県磯部温泉〈田中、森下、福田、天野、土屋〉参加 計45名

3：協議

(1) 関東地区山岳連盟連絡協議会(報告) (天野)

・関ブロ大会の役員数の変更 →審判員を現行12人から18人に増員。総務委員は現行通りとするが、経費は各県が負担する。

・平成23年度関東ブロック大会 7/23-24 茨城県要項案スタート順の抽選をする。

・関東地区スポーツクライミング大会開催について→今年は埼玉県。11/13

→廃止や規約等の意見が出る。→埼玉岳連が中心になって来年の総会に提案する。

→年齢制限等についても出されるが……結論出ず。

・「公認ビレイヤー」の認定制度案が出されたが、当面「スポーツクライミング指導員」を進めていく。

・その他、トレラン、個人会員、遭対等の意見が出されたが、結論を出すにいたらず。

・次期日本山岳協会の会長候補について、「神崎氏が選任された」ことが発表された。

(2) 総会に向けて

①各委員会の平成22年度事業報告と決算について →例年の形式でお願いします。

②各委員会の平成23年度事業計画と予算について

→新規事業等があればお知らせ下さい。

③本会計・特別会計等の執行状況について

→未請求のものは速めに連絡。

④役員について→選手強化委員会会計担当について変更→委員会に一任→企画委員会はどうか。

⑤その他

(3) 田中名誉会長賞について

各会に案内を配布する。各委員会等からの推薦もお願いします。

候補案？→①国体チーム(久しぶりの入賞)

(4) 積雪期緊急避難講習会開催について

2/26-27・遭対委員会主催 資料参照

レスキュー講習会は、後日要項を発送。

3/5・(土)飯能：天覧山にて

(5) ホームページについて

2月中にうち合わせをして、4月公開をめざす。

(6) 県岳連のロゴマークについて

→締め切り1月末日→応募状況 特になし。急がないので、現状のものを使用していく。

(7) 彩・岳悠会の加盟について 今後の手続きの確認

3/8の理事会に会長出席・挨拶→承認 了承

(8) その他

①「」活動の協力願い(森下会長より) 仮承認。

②田中名誉会長の日本山岳協会会長退任に際する慰労会の開催 →発起人を決め、日程等をおさえる。

③協賛団体等に「岳連報」を送付。(広報委員会)

5 各部からの報告等

①指導委員会

●1/15-16 積雪期登山講習会・指導員研修会(那須) 50名参加

●1/22-23 日山協氷雪技術講習会の事前講習会(野村参加)

※指導員養成講習会の検定結果等について

→「全員合格」で日山協に報告予定。最終判断は日山協指導委員会にて

→正式な認定は、23年度になってから。

②競技委員会

●1/29-30 平成22年度競技委員会ブロック別研修会(関東地区)

※平成23年度クライミング関係行事予定/担当者一覧(資料参照) 日程は一部変更あり。

③選手強化委員会 コーチ招聘講習会(小澤信太)

1/30, 2/11, 他4回 選手10名程度

02/26-27 ボルダリングジャパンカップ・大分

→是永弟・尾上・細田+佐藤監督・参加

03/ ユース大会・印西選手派遣予定

④遭難対策委員会

●1/28-30 日山協「22年度積雪期レスキュー講習会」・富山：国立登山研修所(瀬藤参加)

02/26-27 積雪期緊急避難講習会・

谷川岳登山センター付近 3,000 円※2/19 締切

03/5 遭難対策委員会+レスキュー研究会

「岩場でのリードレスキュー研修」開催

岩場の講習会で確保者の事故脱出を行っておりますが、その後の救助に関しては未だ救助方法が確立されていません。参加各員の意見を取り入れたリードスキューを研修したいと考えております。

・場所 飯能：天覧山の岩場（開催要項後日発表）

⑤自然保護委員会

03/12-13 第3回自然観察会 雲取山荘・雲取山

2/8 現在 10 名 ★参加者募集中★

04/2-3 平成 23 年度自然保護委員会総会・小鹿野 06/4or 5 平成 23 年度清掃登山(ハイキング)計画(案)配布済み→各会の年間計画に位置づけて下さい。

⑥海外登山委員会

●1/30 第 49 回海外登山技術研究会・

東京 〈天野・加藤・鳥〉参加

●2/1 定例委員会開催・さいたま市

○ボリビア登山計画(茨城岳連海外委員会からのジョイント企画)あり。→埼玉から 3 名参加予定

山際隊長、小茂田隊員、高桑隊員(元・埼玉岳連)

○2011 彩の国メラ・ピーク(6,473m)登山隊

3/31-4/22 大山光一隊長以下 4 名参加

(大山隊長、風間副隊長、小茂田、塩谷、細谷隊員)

⑦ジュニア委員会

●1/22-24 指導者講習会：八ヶ岳 18 名参加

●2/4-7 高体連新人大会 生徒 70 名+顧問 32 名参加
5 日夜：雪洞泊(テント泊もあり) 6 日：スキー隊+ワカン隊 ※スキー隊は 1 校のみ。

⑧広報委員会

○1/31 第 38 号発行 8P/1600 部

本日配布・発送しました。

⑨企画委員会

※「上海のクライミング事情」・(別途資料参照)

※ 次回は、「中国のクライミング大会」報告の予定。

⑩事務局

03/12(土)『埼玉県体育賞授与式』14:30～

さいたま共済会館 6 階ホールでの、競技団体代表者(物品受領者兼式典参加者)の連絡→長谷川日山協自然保護委員長。

○各委員会等の未請求について、早めの連絡をお願いします。

(8)その他

第 40 号は、記念号として発行。企画等アイディアがありましたらお知らせ下さい。

※現在の「縦書き」を「横書き」に移行。

→編集のし易さ・予算面から。

6. 閉会挨拶 (石倉副会長) 年度末まで、各委員会の事業がまだ続きます。宜しくお願いします。

第 25 回二子山 開山式

今年も恒例の「二子山開山式」が股峠にて午前 10 時より開催。今年は、記念すべき 25 回目の開山式であったが、3 月 11 日の東日本大震災の影響で開催が危ぶまれた。しかし、地元の努力により、「東日本大震災により犠牲となられた方々を悼むとともに、被災地の早期復興への願いを込めて」開催された。式は、小鹿野山岳会の柳原会長の司会により開始。

はじめに地元神社の宮司さんにより、大震災の復興、二子山の開山、安全登山を祈願した祝詞が上奏。その後、お祓いを行い、参加者による玉串の奉納が行われた。

式後、二子山の自然を守る会会長さんの挨拶の後、日山協田中会長さん、観光協会会長さん、地元議員さん、地元警察署長さん 等の挨拶があった。今回も総勢 100 名ほどの参加者があり、盛大であった。



日山協・田中会長(埼玉岳連名誉会長)の挨拶
編集注 敬省略 写真・文とも加藤事務局長

2011 彩の国メラ・ピーク登山隊 仮報告

名 称：2011 彩の国メラ・ピーク登山隊

後 援：埼玉県山岳連盟 海外登山委員会

構 成：(※2)

隊 長(渉外) 大山 光一(山学同人比企)

副隊長(医療/装備) 風間 進(浦和溪稜山岳会)

隊 員(記録) 小茂田利孝(遠峰山岳会)

隊 員(食料) 塩谷 壽子(大宮山岳会)

期 間：2011 年 3 月 31 日～4 月 22 日(23 日間)

目 的：①メラ・ピーク(6467m)全員登頂

②ヒマラヤ 6000m 級の登山経験者を育成

<登山を振り返って>

今回は、ヒマラヤの 6000m 峰を全員で登ることにこだわった。しかし、簡単なようだが、これがなかなか難し

い。それは個人の登山歴や過去の体験が異なるからです。
一方、登山者の多くが一度はヒマラヤの 6000m 峰のピークに立ちたいと憧れるが、行きたくてもひとりでは行けない。かつて、私自身もそうでした。

だから、同じ志を持った仲間と手作り登山を通して、体調管理に気を配り、天候を判断し、チャンスを利用して一気に登頂を果たすという登り方を実践しました。

高度順化では、嘔吐や頭痛で苦悩のメンバーもいたが、個々人の心構えで、対処できる範囲なので、もう少し他人の意見を聞くことが必要だと感じたのはわたしばかりではないだろう。全体的には、想定内の症状であり、特に行動日程を変更するようなことはなかった。

1ヶ月前に、アフリカ大陸の最高峰キリマンジャロ登山を遂行し、高度障害を自覚することなく、国内の山を登るように食欲も旺盛、一番元気だった最年長者には脱帽である。そして、8000m 峰の登頂経験者は、自らの持論の展開で高度障害の予防に万全を配していた。それぞれの自己管理が素晴らしかった。

今年のヒマラヤは天候が不安定で、一日における天候の変化が目まぐるしかった。晴れのち曇り、霰や降雪、それに雷雪にも出会った。従って、アタックも、当初は予定より一日早い計画だったが、暗雲の垂れ込める空間を仰ぎ気持ちが沈んだ。

しかし、一日の待機が、結果的には 4 月 11 日のハイキャンプ設置と山頂にアタックした 4 月 12 日が登山期間中の一番安定した日となった。まさに最良のタイミングだった。



ワンチャンスをつかみメラピーク全員登頂なる！
左から小茂田隊員、風間副隊長、大山隊長、塩谷隊員。

メラ・ピーク登山は、技術的に難しい山ではないが、山の懐が深くベースキャンプまで数日を要する。タンナとカーレの集落で、救助ヘリコプターに遭遇した。従って、6000m を越えるヒマラヤで簡単な山はないと痛感した。油断すると、高度障害や体調管理に影響を受ける。

カルカテンでは昼食後、高度順化に励み、タンナとカーレでは滞在して、高度順化を行なった。衛生管理にも気を配り、食器類の煮沸消毒を徹底し、食事は日本食

を準備して、登山に専念できる環境を整え。従って、楽しい登山ができたと思います。

それから、約 4600m のザトルワ・ラ（峠）は積雪があり、山稜の起伏や長いトラバースがいくつもあり、動物による物資の運搬はできず、すべて人力でした。

最後に、メラ・ピーク登山に参加のメンバーと関係者各位に感謝申し上げます。尚、詳細は、別途報告書を発行します。 (文責：大山) 大山光一



空港に無事到着！

行動概要 (記録：風間) 太字・登山期間

平成 23 年 3 月 31 日～4 月 22 日

3/31 羽田発：タイ航空 TG-661 便、(00:20)～バンコック着 (05:20)、空路バンコック発：タイ航空 TG-319 便 (10:15)～カトマンズ着 (12:25)

4/01 カトマンズ発 AGNI AIR(11:00)～ルクラ (11:45)

4/02 ルクラ～チュタンガ

4/03 チュタンガ～カルカテン

4/04 カルカテン～チュリカルカ

4/05 チュリカルカ～コテ

4/06 コテ～タナ

4/07 タナ 休養日(～4500m～タナ)

4/08 タナ～ カーレBC

4/09 カーレBC休養日(～メラ峠下～BC)

4/10 天候悪化によるBC停滞

4/11 カーレBC ～HC

4/12 HC ～ メラピーク登頂 6473m～カーレBC

4/13 カーレBC～コテ

4/14 コテ 完全休養日

4/15 コテ～チュリカルカ

4/16 チュリカルカ～チュタンガ

4/17 チュタンガ～ルクラ

4/18 ルクラ～カトマンズ AGNI AIR

4/19 予備日(カトマンズ市内観光)

4/20 予備日(市内で買物)

4/21 カトマンズ発：タイ航空 TG-320 便(13:30)バンコック着(18:15)

4/22 バンコク発:タイ航空 TG-642 便
(23:45)～成田着(08:20)

(※2) 参加予定の細谷隊員は本人都合により不参加。
メラ・ピーク登山隊 事務局 岩井田正昭

平成 22 年度埼玉県体育賞 は以下の方が受賞されました

功 勞 賞 競技団体：山岳

長谷川 茂 理事（日本山岳協会常務理事）
（長谷川理事は昭和 46 年度に優秀選手賞を受賞し
ており県岳連・初のダブル受賞です）

優秀選手賞 全国大会優勝者

（全国高校生クライミング選手権大会）
細田 匠 選手（県立久喜工業高校）

埼玉県山岳連盟自然保護委員会・活動報告書

平成 23 年 4 月 2 日

自然保護委員会岩崎作成

自然保護委員会の活動

イ) 自然観察会

- 4 月 11 日 小鹿野町「観音山」国体コース、春の草花を
楽しむ会、コース清掃 30 名参加。
- 5 月 22～23 日 長野県川上村「わらび山荘」山菜を楽
しむ会、清掃登山説明会 25 名参加。
- 3 月 12～13 日 奥秩父「雲取山荘・雲取山」 東北大
震災の為中止（18 名参加予定）

ロ) 清掃登山及び関東ふれあいの道の状況調査

○埼玉県立自然公園全域対象に各加盟山岳会が実施
…埼玉県後援

実施日 6 月 5 日（土）及び 6 日（日）⇒参加山岳会の
都合により実施⇒期日外実施 5 団体、参加団体数＝23
加盟団体、参加人数＝305 名（県職員 8 名含む）
協力市町村＝10 市町村、協力企業＝4 企業・西武鉄道
株式会社（5 駅）、回収ゴミ量 ・空き缶:519 個及び

1 袋と約 2,0kg、ペットボトル:178 本と 1 袋、ガラス瓶:146
本と破片約 8.5kg 可燃ゴミ:72,7kg と 2 袋

ハ) 植林地整地及び鹿食害対策（ネット張り）……百年の
森づくり会と共催

期日 ①10 月 9 日（土）～10 日（日）、
②11 月 20 日（土）～21 日（日）

場所 和名倉山・仁田小屋尾根植林地

参加人数①＝28 名（加盟山岳会会員及び百年の森づく
り会会員）

②＝6 名（加盟山岳会会員及び高体連登山専門部生徒）
ニ) その他

※自然保護委員会（指導員）総会 4/10 小鹿野町旧倉
尾小学校体育館：32 名出席。

※環境省委嘱自然公園指導員に堀江氏・米渾氏・高岡
氏・大石氏・岩武氏の 5 名を推薦した。

※県農林部より依頼の森林審議委員会委員に 1 名推薦
した…堀江氏（桜草山の会）

※日山協主催・自然保護指導員総会:19/11～12 新潟県
：田中文男日山協会長・長谷川茂氏・堀江氏・浅見氏・
三ツ木氏・柳原氏・吉田氏・岩崎の 8 名参加（120 名）

※日山協主催・自然保護指導員研修会・11/26・国立リッ
ピック記念センター 参加者約:60 名：長谷川茂氏・堀江氏・
三ツ木氏・吉田氏・関根氏・大成氏・岩崎の 7 名参加
※山はみんなの宝！全国大会・11/30 日本青年館参加
者約:500 名、：田中文男日山協会長・長谷川氏・堀江
氏・三ツ木氏・岩崎の 5 名参加

1/13・北本自然観察公園 参加者:45 名

※日山協 50 周年記念事業:国際環境フォーラム講演会
「自然と子どもたち」・1/14・国立リッピック記念センター・
参加者約:80 名…埼玉県環境部から賀川主査が参加
：田中文男日山協会長・長谷川茂氏・堀江氏・三ツ木
氏・岩崎の 5 名参加。

※ 編集注 総会配布の活動報告書より抜粋しまし
た、一部編集の都合で省略しております。

広報委・岩井田

田中文男名誉会長・日山協会長退任慰労会 開催のお知らせ

すでにご案内の通り本年を持って日山協会長を退任されます田中文男県岳連・名誉会長の慰労会を下記
要項にて開催いたします、なにとぞご臨席賜りますようお願い申し上げます。 県岳連会長 森下健七郎

発起人	森下健七郎	埼玉県山岳連盟 会 長	佐藤 求	さいたま市山岳連盟 理事長
	天野 賢一	埼玉県山岳連盟 理事長	古峰 孝	加須市山岳連盟 会 長
	加藤 富之	埼玉県山岳連盟 事務局長	岩崎 元郎	無名山塾 主 宰

記

期 日： 平成 23 年 6 月 25 日（土曜日）14:00～16:30 場 所： 浦和ロイヤルパインズホテル クラウン
会 費： 12,000 円 締切り：平成 23 年 5 月 31 日 担 当： 慰労会・実行委員長 天野 賢一
携帯 090-7835-3455

23 年度海外委員会総会報告

平成 23 年 5 月 14 日 pm5:00～

東松山・上沼旅館

出席委員：鈴木直樹委員長、天野賢一、大山光一、加藤富之、風間進、塩谷壽子、鈴木百合子、福田靖、正田範満、岩井田正昭、(23 年度入会) 細谷宣朗 計 11 名



海外委員会総会 開催

海外委員総会が東松山にて開催、例年に比べて若干委員数が少ないが、活発な総会を行った。

鈴木委員長の開会挨拶後、議長選出を行い委員長推薦により議長に天野委員を推薦。直ちに討議に入った。

- ① 平成 22 年度 事業報告⇒配布資料
 - ② 平成 22 年度 決算報告⇒配布資料
 - ③ 平成 23 年度 事業計画⇒配布資料 (抜粋)
 - I・メラピーク登山隊 (後援) 3/31～4/22 《終了》
大山隊長・風間副隊長・小茂田隊員、塩谷隊員
 - II・ボリビアアンデス [茨城・埼玉合同登山]
6/24～7/14
茨城 (椎名、他 4)、埼玉 (山際、小茂田、高桑)
 - III・秋季マサル (8, 163m) 登山隊 9 月中旬～10 月中旬
大山・風間・()
 - ④ その他
 - 1・遠征の岳連隊規定について
 - 2・新年度予定の海外登山計画について
 - 3・岳連行事へ参加交通費補助について
 - 4・メルマガリスト変更について
- 総会終了後・引き続き懇親会を行い、大山隊長、風間副隊長よりメラピーク登山隊の記録報告が映像で紹介された。
報告・(海外委) 岩井田

【専門委員会 計画】 23 年 6 月～9 月

① 事務局

- | | | |
|------|--------------|----|
| 6/14 | ・常任理事会 | 北本 |
| 6/24 | ・田中名誉会長退任慰労会 | 浦和 |

- | | | |
|------|--------|----|
| 7/12 | ・理事会 | 北本 |
| 8/9 | ・常任理事会 | 北本 |
| 9/13 | ・理事会 | 北本 |

② 指導委員会

- | | | |
|-----|-----------|-----|
| 7/3 | ・指導委員会 総会 | () |
|-----|-----------|-----|

③ 競技委員会

- | | | |
|---------|----------------|----|
| 6/4～5 | ・国体リハサル大会 | 山口 |
| 6/12 | ・コバトン・ボルダリング大会 | 川越 |
| 7/23～24 | ・66 国体関ブロック 大 | 茨城 |
| 9/4 | ・クライミング講習会 | 加須 |

④ 選手強化委員会

- | | | |
|---------|----------------|----|
| 6/4～5 | ・国体リハサル大会 | 山口 |
| 6/12 | ・コバトン・ボルダリング大会 | 川越 |
| 7/23～24 | ・66 国体関ブロック大会 | 茨城 |

⑤ 遭難対策委員会

- | | | |
|------|-----------------|-----|
| 6/4 | ・第 2 回 レスキュー研究会 | () |
| 9/10 | ・第 3 回 レスキュー研究会 | () |

⑥ 海外登山委員会

- | | | |
|--------------|--------------|------------------------------|
| 6/7 | ・例会 | 大宮 |
| 6/24～7/9 | ・ボリビア・アンデス登山 | ボリビア
(茨城岳連・埼玉岳連合同登山隊) |
| 9 月上旬～10 月中旬 | ・マサル登山 | ネパール
2011 秋季マサル 8163m 登山隊 |

⑦ 自然保護委員会

- | | | |
|---------|----------|------|
| 6/4～5 | ・清掃登山 | |
| 9/10～11 | ・植林地整地登山 | 和名倉山 |

⑧ ジュニア委員会

- | | | |
|-----------|--------------------|-----|
| 6/22 | ・夏山机上講習会 | |
| 8/6～10 | ・第 55 回全国高等学校登山大会 | 青森 |
| 8/26 | ・高体連・南部地区新人大会 | 奥多摩 |
| 9/25 | ・高体連・東部地区新人大会 | 加須 |
| 9/25～26 | ・高体連・北部地区新人大会 (縦走) | |
| 9/30～10/1 | ・高体連・関東大会 | () |

⑨ 広報委員会

- | | | |
|------|------------------|----|
| 9/30 | ・広報誌 通巻第 40 号記念号 | 発行 |
|------|------------------|----|

【事務局便り】

下記のお知らせをいたします。

会員証による割引・特典の対象施設、販売店は以下のとおりです、詳細は埼玉岳連ホームページを参照ください。

県岳連HP《 <http://saitama-mf.com> 》

※会員専用ホームページのログイン用ユーザー名、パスワードは総会資料を参照ください。(取扱いにご注意)

.....

割引・特典などの対象施設、販売店等

- ① 秋山郷温泉保養センター・雄川閣・・・長野県
- ② 麦草ヒュッテ・・・長野県
- ③ 名栗温泉・さわらびの湯・・・飯能市
- ④ 猿ヶ京温泉・まんてん星の湯・・・群馬県

- ⑤ 小谷温泉あつゆ元・熱泉荘・・・・・・・・・・長野県
- ⑥ I C I 石井スポーツ (山用品店)
大宮店・川越店・越谷イタウン店・・・・埼玉県
太田高林店・高崎店・・・・・・・・・・群馬県
- ⑦ 山遊人 (山用品店)・・・・・・・・・・飯能市
- ⑧ 雲取山荘・・・・・・・・・・秩父市
- ⑨ パンプ 1 号店 (クライミングジム)・・・・・・川口市
- ⑩ ミストラル (クライミングジム)・・・・・・越谷市
- ⑪ ロッククラブト川越 (クライミングジム)・・・・川越市
- ⑫ 国民宿舎両神荘・薬師の湯・・・・・・・・・・小鹿野
- ⑬ 三峰神社・興雲閣・・・・・・・・・・秩父市
- ⑭ 赤谷温泉・小鹿荘・・・・・・・・・・小鹿野

平成 23 年 4 月現在

岡山県山岳連盟より役員改選のお知らせ

役職名	氏 名	所 属	
会 長	岡本 忠良	玉野ミネルバ山の会	留任
副会長	蓬郷 隆治	岡山山の会	留任
副会長	徳田 耕一	岡山大学山岳会	留任
副会長	北川 順一	みつがしわ山の会	新任
副会長	今井 敏夫	倉敷山の会	新任
理事長	山本 廣康	みつがしわ山の会	新任
副理事長	武部 秀夫	アルパインクライマーズクラブ岡山	新任
事務局長	山崎 裕晶	岡山大学山岳会	新任

日本山岳会埼玉支部 安全登山委員会 第 3 回講演会のお知らせ

『夏山登山の山岳気象』観天望気と気象遭難

期 日：2011 年 6 月 15 日 19:00～21:00
 場 所：仲町川鍋ビル (株・万代) 8 階会議室
 さいたま市大宮区仲町 2-60
 講 師：環境省自然公園指導員、日本山岳会会員
 城所邦夫氏
 申込方法：安全登山委員会 松本敏夫
 ①tel 090-5338-0118・
 ②mail toshio-matsumoto@com.home.ne.jp
 ①、②の方法で申し込み。
 参加費：500 円／先着 80 名募集

第 12 回 KAZO クライミング カップ 2011

第 24 回県民大会兼国体埼玉県予選会
 第 12 回加須カップ 2011 が 5/22 (日) 恒例の加須
 市民体育館で行われた。今年は東日本大震災の影響でク
 ライミングウォールの安全確認のメンテナンスもあり、
 開催のゴーサインが出たのは例年に比べて 1 ヶ月も遅く、

4 月の中旬になってしまった。

募集期間も少なく、準備作業も余裕が無く、あたふたし
 た対応に追われる事になってしまった。しかし、長い事
 親しまれているこの加須カップは、こと参加人数に関し
 ては例年通りの人数 130 名弱の応募者を確保できて、先
 ずはホッとした。

競技形式は、今年度は年末の第 2 回全国高校選抜大会
 開催の主管に向けて予選は「全員がフラッシング方式で
 2 ルートトライする」方式を試そうと云う事になった。

さて、競技結果は今回、埼玉県勢の躍進が目立った。
 エキスパートでは 2 位是永敬一郎 (高 1) と 3 位古畑和
 音 (高 2)、スーパーミドルでは 3 位坂井絢音 (中 3)、
 ミドル 1 位本間大晴 (小 6) と 2 位渡邊海人 (中 3)、ビ
 ギナーでは 1 位八戸大紀 (高 1)、キッズでは 2 位続
 椋太 (小 5) と 4 位江上里琴 (4 年) と 3 位以内 15 人中
 7～8 人と上位選手の半数を占める事が出来た。(昨年度
 は 15 人中 6 名だった) また、カテゴリーでは前述のよう
 に、特にユース世代の躍進が際だって、着実にユース世
 代が育っている事が証明できて、将来に期待が持てる大
 会となったと思う。

選手強化委員長 宇津木 秀二



予選中の加須ウォール・右から A、B、C、D 壁

.....
 カテゴリー別 8 位までの入賞者は以下の通りです
 「エキスパートの部」

- 1 位 島谷 尚季 千葉県岳連・さつきが丘中
- 2 位 是永敬一郎 埼玉・京北中
- 3 位 古畑 和音 埼玉県立越谷東高
- 3 位 芝田 将基 ロストキャニオン
- 5 位 野村真一郎 プロジェクト土浦第二中
- 6 位 小峰 直城 ロッククラブト東京学芸大
- 7 位 波田 悠貴 エゾーライミングジム・春日部市立緑中
- 7 位 植崎 智亜 作新学院中等部・栃木県岳連

「スーパーミドルの部」

- 1 位 飯田 譲 船橋市立海神中・千葉県 UCC
- 2 位 大高 伽弥 CARAMBA 都岳連・青梅第三中

- 3位 二宮 亮太 千葉県立市川工業高
 3位 坂井 絢音 ロッククラフト川越・砂中
 5位 辻 風人 青梅市立吹上中
 6位 是永つぐみ 東京家政大学付属女子高
 7位 小島 顕人 白鳳大学足利高
 8位 川端 唯人 F C C 烏山中

「ミドルの部」

- 1位 本間 大晴 川口市立仲町小
 2位 渡辺 海人 ビナ・加須市立昭和
 3位 中田 茉那 城山中
 4位 佐久間和也 チーム千葉ジュニア千葉商科大学付属高
 5位 比企 千織 佐野中
 6位 菊沢 絢 L K C C 鰯ヶ崎小
 7位 古谷 孝久 (有)古谷ブロック工業所
 8位 篠原 大太 エナジー

「ビギナーの部」

- 1位 八戸 大紀 小松原高
 2位 木暮 月 東久留米市立大門中
 3位 番場 香月 ミストラル・松戸市立第六中
 4位 茂呂居 楓 佐野市立北中
 5位 磯部いの八 群馬県立高崎高
 5位 小野寺 光 日本女子大
 7位 矢部 成己 ロッククラフト川越・市立富士見中
 7位 横山 千晃 前橋女子高

「キッズの部」

- 1位 田中 修太 妙高市立斐太北小
 2位 續 椋太 ロッククラフト川越・市立中央小
 3位 茂呂居岳人 佐野市立大伏小
 4位 江上 理琴 ロッククラフト川越・市立大塚小
 5位 高島 悠吾 松戸市立殿平賀小
 6位 中村 颯人 ロッククラフト川越・黒浜北小
 7位 曾我 綾乃 PUMP 1・上青木南小
 8位 肥田宏太郎 ロッククラフト野木町立南赤塚小



エキスパートの部 表彰式 入賞者の選手

【編集後書】

理事会、総会を経て広報誌の紙面変更が承認され、今回の 39 号から従来の縦書きから横書きに大幅な変更をすることにしました。(次号 40 号から広告も採用)

紙面体裁の変更は約 10 年振り (2011) です。

I 昭和 46 年 (1971) 1 号～11 号 (B5 版・縦書き)

II 平成 14 年 (2002) 12 号～38 号 (A4 版・縦書き)

III 平成 23 年 (2011) 39 号～ (A4 版・横書き)

(第 1 号の広報編集人は当時、県岳連・理事で現・田中名誉会長です、県岳連の長い歴史(1955 年～2011 年)を感じさせられる広報誌です。)

なお本年 9 月に通巻 40 号:記念誌を発行の予定です。記念号にふさわしい企画提案、ご意見、アイデアがありましたらぜひ下記メールまたはHPでご一報ください。

季節の変わり目、入梅となり気温の変化が著しくなりました。山々は水気をたっぷりと含んで新鮮な緑の山にまもなく衣替え。梅雨が明けたら早速、越後のブナの新緑をカメラと飲み物もって見に行こう。

miwaida@mua.biglobe.ne.jp 岩井田正昭

110529 広報 @miwaida

埼玉県岳連報『埼玉岳連』広告掲載募集のお知らせ

第 40 号から広告掲載をします。

広告サイズ A タイプ・A4・本誌 1 ページ分 w180mm×h260 以内
 広告サイズ B タイプ・A4・1/2 ページ分 w180mm×h120 以内
 広告サイズ C タイプ・A4・1/4 ページ分 w180mm×h 50 以内
 掲載条件、書式、価格などについては下記の HP でご確認ください。

埼玉県山岳連盟 HP 《 <http://saitama-mf.com> 》

広報委員会